

令和6年度 林業普及週間現地情報 (4/15~4/19)

森林管理課

廃棄材の利活用について

4月22日(月)

令和6年4月19日(金)に宮古木工芸の工房を訪れた際、工房に用途未定のクロキの板材があった。今のところ廃棄するしかないということだったので、何らかの形で活用できないか宮古木工芸代表の与儀氏と調整を行った。

数年前に三線の竿にする予定でクロキの丸太を十数万円で購入したが、製材したところ、材内部に空洞があったため、竿にすることができず、現在の状態で使い道に困っているようであった。調整の結果板材のまま、削りや塗装等を行い、PCスタンドとして使えるようにした場合、1万円程度で作成可能であるとのことだが、他にも良い活用方法があればそのアイデアを随時提供していきたい。

クロキは、心材が黒色で、堅く、独特な模様やその音色から三線の竿の高級材として需要がある一方、成長が遅いこともあり材の確保が困難となっている。

今後も、クロキのような貴重な材を余すことなく有効活用出来るようにし、島産材の利用促進に繋がるように取り組んでいきたい。



推定樹齢 200 年以上のクロキ



クロキの板材

(報告者：宮古農林水産振興センター 山城)